

グリーンスタッフ正社員制度化に向けて！

「グリーンスタッフ関係地本代表者会議」開催！！

グリーンスタッフの駅への拡大から5年が経過しようとしています。第二の雇用不安が懸念される中で、2012年問題を打開に向け12回の交渉を積み重ね、グリーンスタッフ関係地本代表者会議を開催し、国会議員への要請行動、署名活動や街宣行動など、様々な取り組みをグリーンスタッフの仲間と共に行ってきました。

10月4日で7回を数えたグリーンスタッフ関係地本代表者会議には、全国ユニオン・渡辺事務局長、派遣ユニオン・見留委員長、JR貨物労組、シェイアールバステック労組の仲間にも参加いただき、これまでの様々な取り組みを通じて連帯の輪が大きく広がっています。

一方で、社会人採用一次試験の結果を巡って、職場から様々な声が本部や地本に寄せられています。私たちは雇用問題を全組合員の問題であると再認識し、グリーンスタッフの正社員化に向けて闘いを創りださなければなりません！全組合員でたたかい抜こう！

【グリーンスタッフ組合員の声】

- ・試験に不合格になった。試験はもう一度受けられるが、今から仕事を探すか悩んでいる。
- ・結果を見て、ショックで食事も喉を通らない。
- ・噂話ばかりで仕事に集中できない。
- ・マイブツをやれば社会人採用試験に合格すると言われたが、試験には全く関係なかった。
- ・優秀な先輩たちが合格しない状況を見ると、自分が試験を受けても合格するか不安だ。

【共に働く仲間の声】

- ・こんな事が半年に一度繰り返されるのは耐えられない。
- ・仕事ができる人が一気にいなくなってしまうと勤務が回らなくなってしまう。

広がる連帯の輪

【全国ユニオン・渡辺事務局長】

一緒にたたかっている立場で参加させていただき、皆さんの意見に非常に驚いた。長い間、有期雇用問題に取り組んでいるが、「解雇された人の気持ちは解雇された人にしか分からない」と何回も言われている。この言葉は正しいが、JR東労組としてグリーンスタッフの気持ちを受け止め、寄り添って大きく運動を作り出していきたい。

中小企業の有期雇用雇い止めについて2年以上たたかってきて、職場に戻った例も出てきている。気持ちが折れる時期かも知れないが、気持ちを強く持ってたたかおう。応援しています。

【派遣ユニオン・見留委員長】

職場内の不協和音の中で、鉄道業としての任務を全うしている話を聞いて涙が出そうな思いです。通信会社のオペレーターをしていたが、非正規労働者は関係ないと労働組合に入れてもらえなかった。切羽詰った状況の中で大変かもしれないが、街宣行動など一緒にたたかいます。いつでも力になります。

厳しい雇用状況の中に仲間を放り出すわけにはいかない！！

正社員化実現に向けて職場からたたかおう！！